

◆ 合唱コンクール、3年生としての「存在感」 を充分に発揮してくれました。 この色別合唱にかけるみんな の思いがあの瞬間にすべて 凝縮されていたと感じる ほどの見事な発表でした。



◆ 合唱自体の「仕上がり」もさることながら、 私が一番心打たれたのは「みんなの表情」で した。あの真剣な「**眼差し」・**懸命な「**姿勢**」 伝わってくる「エネルギー」。

「一生懸命が一番格好いい!」

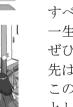


という言葉を、まさに体現してくれた発表でした。

トごとの練習を、3年リーダーが主体となり、細かい指導を重ね、合唱



全体を創り上げていく過程が必要でした。そして、この過程 こそが人間を成長させ、自覚を生み、3年生としてのプライドを芽生えさせ、 そして、あの合唱へとつながっていった。私はそう思います。



▶「目の前のことに真剣に 向き合う」「その時 その瞬間に すべてを注ぎ込む。」そして「とにかく手抜きをせずに 一生懸命頑張る」その大事さを、今回実感したはずです。 ぜひこの経験を今後の受験にも生かしましょう。…ここから 先は、「**ことの戦い**」が続きます。きっと苦しい戦いが待っているはずです。 この合唱コンクールの経験を「思い出」で終わらせず、「財産や成長の糧」 として欲しい。そう願っています。

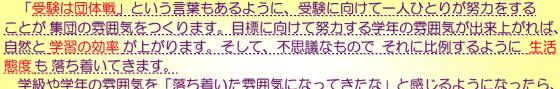


主要な学校行事が終了し、残りの中学校生活はついに入試に向けて ひたすら努力する時間となりました。ほとんどの人たちにとって入試 という「壁」は初めて経験するものです。

「学力が伸び悩んで困っている」「志望校に合格できるだろうか」「何とか 少しでも楽に入試を クリアできないものだろうか」… 等、誰しもが 不安を感じることでしょう。今も既に 壁に突 き当たって悩んでいる人も いるのではないでしょうか。

人が「不安」を感じる 最も大きな理由は「準備不足」だそうです。正直なところ、 高校入試においては どれだけ 準備しても 足りない と感じるかもしれません。 しかし、何も準備せずに 不安いっぱいで 当日を迎えるよりも、精一杯の努力を 積み重ねて 当日を迎えるほうが、圧倒的に 落ち着いた気持ちで 試験に臨む ことができます。

また、そうやって 努力を積み重ねて 身に付けた実力は、進路実現のための 「強力な武器」となり、君たちの未来を 切り拓いてくれるでしょう。



学級や学年の雰囲気を「落ち着いた雰囲気になってきたな」と感じるようになったら、 本物です。みんなで受験に向けた雰囲気をつくり、受験の時に使える 強力な武器を 身に付け、不安を払拭した状態で 受験当日を迎えられると いいですね。

UR not alone の2つの意味とは?

8月号で紹介した GReeeeN の受験応援歌、 覚えていますか? その歌の「題名」の 「You are not alone」とは、

「君はひとりじゃないよ」との意味ですが、 別に、「もうひとりの 自分が見ている」と いう意味が込められているそうです。 誰も見ていなくても、

- ・必死で頑張った自分
- ・決して 怠けなかった自分
- ・くじけそうになった自分
- ・時々負けてしまった自分

そう、誰でもない「もうひとりの自分」が 君のことを一番見ている。

だから、自分に嘘はついちゃいけない…。 まだ、自分に余力が残っていれば、それを 「全力」とはいわないんだ。

「**もうひとりの 自分が見ている**」 そう 肝に 銘じながら、これからの受験勉強に、立ち 向かっていって下さい。

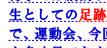
※ 最近、1日の終わりに 聞いている曲を紹介します。

## 「おつかれさまのうた」 aoiro

今日も一日 頑張りました 辛い時間も よく耐えました まずは あなたを 讃えましょう 疲れた心と その優しい瞳に ひとつ ため息が こぼれても 涙は こぼさぬように こらえて ひとりになった その瞬間に こぼれ落ちる あなたの強さ ふたつ 選択肢を 求められ どちらも 選べない時はある 悩んで 悩んで 出した 答えは きっと あなたの 道しるべになる ひたすらに 出てくる 不満にも 逃げずに 負けずに 立ち向かうでしょう 誰にも見えないプレッシャーにも たたかう あなたの歌 明日の あなたも 笑えるように 優しい朝を 迎えられるように まずは あなたを 讃えましょう たった ひとり あなたの事を



それは、学校生活の中心が3年生から2年生へ移行することを意味しています。学校 行事では縦割りを意識した大きな取り組みがありましたが、日常のなかでどれだけ3年



生としての足跡を残すことができたでしょうか。部活動で、委員会活動 で、運動会、今回の合唱コンクール …。みなさんが下級生と関わる場面 を多く見てきました。自分の思いを精一杯語るみなさんを、真剣なまな ざしで聞いている下級生。もう少し時間があれば、もう少しこの関係を 深められる「場」があれば…、そう思うと残念な気もしてきます。



これからは、みなさんが前面に出て、自分の思いを後輩に語ったり、行動で 示したりする場面は少ないのかもしれません。しかし、その分しっかりと2年 生を陰で支えて、応援してくれるような雰囲気をつくって欲しいと思います。 様々な活動で素敵なバトンタッチができますように。



この感動

